

田助小 学校だより

白 岳 薫 風

規律厳正

士気旺盛

和気藹々

令和5年12月11日 文責 校長 丸田 邦博

12月4日(月)～12月10日(日) 人権週間 理解を深め、心を温めました

人権週間中の12月6日(水)に人権集会を行いました。大久保町在住の田●恵●子さんを講師に迎え、「脳出血を乗り越えて思うこと、みんなに伝えたいこと」という演題で講話をしていただきました。

講師の田●さんは、60才のときに脳出血により左半身麻痺になられたそうです。その後、現在までの15年間、創意工夫と努力で病気を乗り越え、日常の生活を営んでおられます。脳と身体を繋げるイメージでリハビリを積み重ねられ、その一つとして折り鶴に取り組んでおられます。当日は右手だけで鶴を折る工程を見せてくださいました。その仕上がりの美しさに、田●さんのこれまでの日々をわずかでも感じ取ることができました。職員や子供たちにも、「幸せのおすそ分け」として一人一人に折り鶴をいただきました。以下、講話の要旨を記します。

○発症し、病院で目覚めたとき、「生きている。」「息をしている。」「動くところがある。」と少し安堵した。次に思ったことは、「じゃあ、どうにかなる。」「家に帰ろう。」という希望と願いだった。

○たくさんの方の友達や仲間と繋がっている。支えてくれる。そこには小学校時代の友達もいる。今の仲間を大切にしてほしい。

○「できないこと」をあきらめない。「どうしたらできるか」を考えほしい。小さな「できること」の積み重ねを大切にしてください。

○今の大きな目標は、自分の足で思うように動けるようになること。自分にはまだ治る余地がある。<子供の質問にも答えていただきました>

Q：生活の中で、たいへんだと思うことは？

A：お風呂だけはデイサービスの方にお世話になっている。あとは、工夫をすればどうにかなる。そんなにたいへんなことはない。だから幸せ。

Q：料理はどのようにして作るのか？

A：先日も立派な大根をもらった。(途中、食材を固定したり、切ったりの説明)工夫すれば大根の皮もむけるし、切ることもできる。おいしい煮物ができた。



12月8日(金)、授業参観・懇談会を行いました。多くの皆様の御参加、ありがとうございました。また、12月13日(水)に行われるPTA主催行事「ふれあいもちつき大会」の準備もしていただきました。当日もよろしくおねがいします。なお、この日は、元老人クラブの皆様方が門松用の竹をそろえていただきました。もちつきと同時開催で、門松づくりとしめ縄づくりも行われます。当日も多くの皆様の御参加をお待ちしています。